

令和6年度授業改善推進プラン

教科名 美術

学年	指導上の課題	具体的な授業改善策（補充・発展等）
1 年	①3 年間の見通しをもたせる ②鉛筆や絵の具などの基礎的技術が身に付いていない。 ③一斉授業で制作過程の理解が難しい生徒がいる。 ④言語活動の充実をはかる。	② 〇3 年間の指導計画を評価の観点(評価規準)を中心に説明する。 ②〇個別の巡回指導をする。 〇制作において、用具の名前や使用法について資料を用いたり、実演を見せたりするなど、視覚的な情報を提供しながら説明をする。 〇個別の巡回指導をする。 ③〇ユニバーサルデザインを取り入れ黒板の掲示を工夫する。 〇制作に取り組む前の教材の管理保管の方法を工夫する。 〇制作過程でアイデアを表現させ、完成のイメージをもちながらプロセスを楽しむ場面を設定する。 〇制作過程を理解していない生徒や、イメージが湧かない生徒には、個別に対応し、適切な声かけを行う。 〇制作手順を示し、安全・協力・能率を意識させる。 ④〇制作後、各自、作品の説明や感想を書いたり、グループ内で鑑賞会を行ったりし、お互いの作品の良いところについて話し合う。
2 年	①興味、関心を高める。 ②一斉授業で制作過程の理解や正しい道具の使用法の理解が難しい生徒がいる。 ③言語活動の充実をはかる。	①〇一人ひとりの個性を大切にし、表現の楽しさを感じさせる。 ②〇制作過程でアイデアを表現させ、完成のイメージをもちながらプロセスを楽しむ場面を設定する。 〇制作過程を理解していない生徒や、イメージが湧かない生徒には、個別に対応し、適切な声かけを行う。 〇個別の巡回指導をする。 〇制作手順を示し、安全・協力・能率を意識させる。 ③〇制作後、各自、作品の説明や感想を書いたり、グループ内で鑑賞会を行ったりし、お互いの作品の良いところについて話し合う。 〇美術史上の作品を鑑賞し、意見を出し合う。
3 年	①学習を生活に生かす。 ②一斉授業で制作過程の理解が難しい生徒がいる。 ③言語活動の充実をはかる。	①〇生活の中での、美術学習の生かし方を工夫させる。 ②〇制作過程でアイデアを表現させ、完成のイメージをもちながらプロセスを楽しむ場面を設定する。 〇制作過程を理解していない生徒や、イメージが湧かない生徒には、個別に対応し、適切な声かけを行う。 〇個別の巡回指導や補習をする。 〇制作手順を示し、安全・協力・能率を意識させる。 ③〇制作後、各自、作品の説明や感想を書いたり、グループ内で鑑賞会を行ったりし、お互いの作品の良いところについて話し合う。

		○美術史上の作品を鑑賞し、意見を出し合う。
--	--	-----------------------

○すぐに取り組むこと